

【対象者と実施内容】

☆特定保健指導以外の対象者☆

単位省略

区分	未受診				治療中			
	生活支援課				健康推進課			
	対象者	実施内容	担当	保健指導の方法	対象者	実施内容	担当	保健指導の方法
A	情報提供で ①HbA1c6.1以上8.0未満(必須) ----- ②HbA1c5.5以上6.0以下 ③HbA1c5.2以上5.4以下かつ 血圧要指導域以上 ④上記以外(血圧・脂質等) ※②③④は区の実情に応じて実施	●①は、受診確認、受診勧奨、受診継続支援、良好なコントロールのための支援。②以下は個別保健指導。	栄養士	電話 面接(食生活相談)				
B	情報提供で ①Ⅲ度高血圧 (収縮期180以上または拡張期110以上) ②血糖コントロール不可 (HbA1c8.0以上) ③Ⅱ度高血圧 (収縮期160～180未満または拡張期100～110未満) ----- ④Ⅰ度高血圧 (収縮期140～160未満または拡張期90～100未満) ※④は区の実情に応じて実施	●重症化予防のため、受診確認、受診勧奨、受診継続支援、良好なコントロールのための支援	地域担当 看護職員 (保健師)	①②③は全て1回以上の訪問(原則訪問であるが対象に応じて電話でもよい) ④は原則電話 訪問:訪問以外に所内、所外の面接でもよい	情報提供で ①Ⅲ度高血圧 (収縮期180以上または拡張期110以上) ②血糖コントロール不可 (HbA1c8.0以上) ③血圧、血糖、脂質のすべて重複して受診勧奨判定値(検査値に応じて必要な人)	●重症化予防のため、受診継続支援、良好なコントロールのための支援	保健師 栄養士	訪問
C	情報提供で ①eGFR50未満(40歳以上70歳未満)	●重症化予防のため、腎臓専門医への受診確認、受診勧奨、受診継続支援、良好なコントロールのための支援	保健師 (栄養士)	全て1回以上の訪問(原則訪問であるが対象に応じて電話でもよい) 訪問:訪問以外に所内、所外の面接でもよい	情報提供で ①eGFR50未満 上記のうち、eGFRが悪い順に、蛋白、潜血、血圧、血糖、脂質、尿酸等の値で優先順位をつける	●重症化予防のため、腎臓専門医への受診確認、受診勧奨、受診継続支援、良好なコントロールのための支援	保健師 栄養士	訪問

※ ここで示す腎臓専門医とは、日本腎臓学会が認定した医師である。
 ※ 上記での血圧、血糖、脂質は対象者選定のための項目であり、保健指導は他の検査項目も考慮して実施すること。
 ※ A、B、Cで対象者が重なった場合は、AよりもB、BよりもCを優先して実施すること。